

富山大学薬学部学生後援会

令和4年度(第25回)総会(抄)

令和4年4月8日(金) 午後1時30分より

富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーデトリウム

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 令和3年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 令和3年度会計報告 (p. 11)
監査報告 (p. 13)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
 - 5-4. 令和4年度事業予定(案)審議 (p. 15)
 - 5-5. 令和4年度予算(案)審議 (p. 19)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 21)
 - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 23)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

本年度総会は、コロナ禍での開催であったため、感染拡大防止対策を徹底しつつ行った。
杉本理事による開会の辞ののち、青島会長のご挨拶、酒井薬学部長のご挨拶と薬学部の説明が行われた。

参加人数は以下の通りであった。

正会員（保護者様）19名、

教員は、酒井薬学部長、松谷薬学部副学部長および学内理事（令和3年度および令和4年度教職員会
員）含めて12名

（追補）歌理事と谷本理事は学部1年生担任用務のため、13時45分に中座した。

青島会長のご挨拶では、新しく入学された学生さんの保護者のみなさまへのお祝いの言葉と共に、コ
ロナ禍における学生さん、及び保護者・正会員のみなさまへの思いやりの言葉、そして今後の明るい学生
生活に対するの願いを述べられました。

酒井薬学部長のご挨拶と薬学部のご説明では、杉谷キャンパスの外観についてのご紹介された（教養教
育一元化についても触れられた）。

→ 本学薬学部の学生教育について述べられた。特に、今年度1年次入学生から変更された本学薬学部
教育プログラムや総合型選抜を導入したことの意味・意義については子細なご紹介があった。

→ 直近6年間における薬学科・創薬科学科卒業生の進路も併せてご紹介された。

ここまでの内容で正会員（保護者）のみなさまから以下のご質問を頂いた。

質問1：博士課程として、創薬科学科3年制、薬学科4年制の違いは何によるのか？

回答：薬学科として博士4年制という制度は、医学科などの他6年制学部にて設置されている大学院が
4年制であるため、それらとの違いを生み出さないようにするためという方針に則って設定されていま
す。

質問2：博士号獲得の基準は？

回答：学生自身が作成した学術論文（投稿論文）2報を基にした博士論文を提出し、審査を受けて博士
号が獲得できます。もちろん、教員は獲得に向けて全面的にサポートします。

質問3：博士課程4年間のサポート体制は？

回答：現在、博士課程の学生はフェローシップや無返還義務の奨学金を利用して進学しています。もち
ろん、国の情勢によってこれらの修学支援は変わる可能性もありますが、これからも学生・保護者のみ
なさまに負担なく、学業を修められますよう、様々な支援を提供するよう、大学では計画しています。

5. 議事

5-1. 令和3年度事業報告

5-1-1. 令和3年度(第24回)総会

担当：杉本

令和3年4月8日(木)の午後1時30分より、杉谷(医薬系)キャンパス 看護棟1階 10番講義室にて令和3年度総会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催場所を日医工オーデトリウムに変更し、執り行いました。令和2年度の事業(総会、国家試験対策、TOEIC受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況)および決算が承認されました。また令和3年度の正会員理事16名、教職員会員理事9名、正会員監査1名、教職員会員監事1名が承認されました。さらに令和3年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。また、理事の方より、いくつか検討事項をご提案いただきましたので、今後の検討課題として対応していくこととしました。

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

担当: 千葉

結果

薬学部6年制導入後の第11期生が令和3年度に最終学年を迎え、令和4年2月19日及び20日に新卒者49名、既卒者8名、及びその他(旧4年制卒業生・受験資格認定者)4名が薬剤師国家試験を受験しました。先日3月24日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です(前々回全国合格率:69.58%, 前回全国合格率:68.66%, 今回全国合格率:68.02%)。

	富山大学		全国	
新卒	45名合格(49名受験)	91.84%	7,386名合格(8,665名受験)	85.24%
既卒	2名合格(8名受験)	25.00%	2,126名合格(5,217名受験)	40.75%
その他	0名合格(4名受験)	0.00%	95名合格(242名受験)	39.26%
計	47名合格(61名受験)	77.05%	9,607名合格(14,124名受験)	68.02%

対策

令和3年度に学生後援会として、薬学科6年生(50名)および博士課程薬剤師コース4年生(0名)向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間

第107回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

令和3年度	内容	講義室
5月6日(木)	ガイダンスI(90分程度) 13:00	オンライン
5月15日(土)	スタートアップ模試(全員)	自宅受験
7月17、18日(土・日)	ステップアップ模試(全員)	自宅受験
9月21、22日(火・水)	全国統一模擬試験I(全員) (薬ゼミ)	セミナー室8
11月8日(月)	ガイダンスII + 対策講義(衛生)	セミナー室8
11月11日(木)	対策講義(化学)	セミナー室8
11月15日(月)	対策講義(実務)	セミナー室8
11月18日(木)	対策講義(生物)	セミナー室8
11月22日(月)	対策講義(物理)	セミナー室8
11月25日(木)	対策講義(治療)	セミナー室8
11月29日(月)	対策講義(薬剤)	セミナー室8
12月2日(木)	対策講義(薬理)	セミナー室8

12月6日(月)	対策講義(法規)	セミナー室8
12月9、10日(木・金)	全国統一模擬試験II(全員) (薬ゼミ)	102
12月13日(月)	弱点克服講義(実務)	セミナー室8
12月16日(木)	弱点克服講義(薬剤)	セミナー室8
1月7、8日(金・土)	メディセレ全国統一模擬試験(全員)	202/セミナー室8
1月13日(木)	弱点克服講義(薬理)	セミナー室8
1月17日(月)	弱点克服講義(治療)	セミナー室8
1月20日、21日(木・金)	全国統一模擬試験III(全員) (薬ゼミ)	402/102
2月19、20日(土・日)	第107回薬剤師国家試験	

費用

・薬学ゼミナール(講義52コマおよび模擬試験5回を含む一式):	2,913,500円(税込)
・メディセレスクール(模擬試験1回):	181,500円(税込)
総計	3,095,000円(税込)

国試対策の総額は3,095,000円で、49名の受講者一人あたり62,730円、1名は模試のみのため21,230円となりました。薬学部6年生に対しては、学生後援会より836,500円(令和2年度は814,090円、令和1年度は842,616円)を支援しました(令和3年度の一人当たりの支援額は16,730円)。これにより、49名の受講者から46,000円(令和2年度は40,000円、令和1年度は34,500円)を、模試のみの1名については4,500円を集金しました。博士後期課程の学生については、今年度は該当者がおりませんでした。

その他

令和3年度は、最初3回の模試(スタートアップ、ステップアップ、全国統一I)について、薬学ゼミナールの講師による総評ガイダンスと解説講義を開催しました。これにより、国家試験対策の早期の段階で、模試後の積極的な復習を学生に促しました。

また2月19、20日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、希望者が近畿日本ツーリストによるツアー(2泊3日)に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当: 南部

概要: TOEIC (国際コミュニケーション英語能力テスト) は英語によるコミュニケーション能力を検定する試験であり, 大学院入試に用いられる他, 企業が採用の際に参考にする場合があります。学生後援会では, 主に創薬科学科に対する支援としてTOEIC講習会, 学内IPテストを企画しています。

活動報告 (令和3年度)

1) TOEIC講習会 (令和3年11月6日(土))

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し, 入門&スコアアップコースの2クラス制で実施しました。令和3年度は令和2年度と同様, Zoomを用いてオンラインで実施しました。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。1クラス分(スコアアップコース)の講師代と添削費は, 薬学部共通経費から支出しました。

実施状況: 参加者22名 (参考: 令和2年度 参加者27名, 内訳: 入門15名, スコアアップ12名)

(1) 入門コース: 13名 創薬科学科2年: 10名, 3年: 3名, 4年: 0名

使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 7

(2) スコアアップコース: 9名 創薬科学科2年: 3名, 3年: 1名, 4年: 5名

使用教材: 公式TOEIC Listening & Reading 問題集 6

(昨年入門コースで使用したテキストを利用することで, 昨年入門コースを受講した学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮したため)

経費: 1) 学生後援会による支援(合計189,200円)

(内訳)

授業料(講師1名分) 5時間	22,000円/時間	金額	110,000円
教材費	22名 3,080円/名	金額	67,760円
添削費	13名 880円/名	金額	11,440円

2) 薬学部共通経費による支援(合計117,920円)

(内訳)

授業料(講師1名分) 5時間	22,000円/時間	金額	110,000円
添削費	9名 880円/名	金額	7,920円

まとめ

1)より, 学生後援会から合計189,200円を支援しました。

講習会終了後、メールにてアンケートを実施しました。

・回答数:入門コース13名中9名, スコアアップコース9名中7名 回答者合計:16名

1. 満足度:大変満足 10名, おおよそ満足 6名, どちらでもない 0名, 不満 0名
2. 難易度:非常に易しい 0名, 少々易しい 4名, ちょうどよい 9名, 少々難しい 3名
3. 開催時期:適切 14名, 他の時期がよい 1名(10月前半), 1名(学内IPテスト後)
4. 講習会の時間:長すぎる 1名, 少々長い 5名, ちょうどよい 8名, 少々短い 2名
5. 次回の参加希望:入門コース 2名, スコアアップコース 8名, 必要ない 6名
6. ご意見等:

- ・TOIECの勉強をするきっかけづくりとしていい機会になりました。短い時間の中で濃い内容でしたが、わかりやすくポイントの解説をしていただきありがとうございました。今後、英語の勉強に励んでいきたいと思えます。
- ・リスニングになれるためにリーディングの問題を声に出して読むことは意味がありますか? 高校時代からやっているのですが意味がなかったらやめようと思っています。効果について教えていただきたいです。わかりやすく楽しい講義ありがとうございました。
- ・講習最後がpart 7だったので、少し集中力が途切れてしまいました。
- ・開催時期についてですが、なかなか忙しい時期ではありますが、学内IPテストが初めてのTOEICのテストの人が多と思うので、IPテストを受けて自分の実力を知ってから講習会を受ける方が実になるのかなと思いました。
- ・音読トレーニングはこれまでの英語学習で取り組んだことがあまりなかったので今後の学習の際に取り入れたいと思いました。
- ・700点以上のコースもあれば尚良かったのではないかと感じました。

2) TOEIC-IPテスト (令和4年1月22日(土)実施予定でしたが、この日に全学の3年生を対象としたIPテストが五福で実施されることとなったため、薬学部主催のIPテストを1月25日(火)に実施した)

- ・大学生協主催で行われています。
- ・創薬科学科学生に対して、受検料(1回分:3,455円)を支援しています。

経費: 学生後援会による支援(創薬科学科2年:2名, 3年:13名, 4年:4名)

(内訳)受検料 3,455円×19名=65,645円

まとめ

学生後援会から、65,645円を支援しました。

今回から、IPテストの無料支援を2回までに増やしましたが、全学主催の3年生対象のIPテスト(無料)が実施されたため、薬学部主催のIPテストへの参加が少なくなりました。

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当: 杉本

令和4年2月17日(木)、薬学部4年次生を対象に令和3年度卒業研究発表会が行われました。今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、オンライン開催となりました。新型コロナウイルスの感染拡大で時間的な制約が大きかった中でも一生懸命に取り組んできた研究成果を、創薬科学科生は卒業研究として、薬学科生は中間発表としてポスターあるいはスライドにまとめて、オンライン発表しました。学生は、各自が作成した資料を学習プラットフォーム(Moodle)に掲示し、教員および学生からの質問に対して回答しました(チャット形式)。例年とは異なる形式ではありましたが、活発な討論が繰り広げられました。また教員、大学院生、学部生(3年次生以上)による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞6名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞7名が選ばれ、賞状と副賞(薬学科生は賞状のみ)が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費(詳細は略)を提供しました。

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-5. 学生実習援助

担当: 杉本

分子細胞機能学研究室担当の学生実習にて使用している機器について修理希望がありました。しかし、見積もりまで取りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため修理担当者が富山に出張できず、パーツの購入及び近場の業者での修理対応に留まり、少額で抑えられたため、担当研究室にて費用負担しました。そのため、R3年度は支出がありませんでした。

参考)過去の事例(令和2年度)

講義実習棟に設置されている真空排気装置の配電盤が故障しました。真空排気装置は、2年次後期の化学系実習で使用しており、修理しないと令和2年10月からの実習が実施できない状況でした。そこで、学生後援会の学生実習援助からその修理費の一部をご支援していただきたく、副会長および学内理事の先生方と協議し、ご承諾いただきました。本来であれば、会長をはじめ、正会員の理事の皆様のご承諾を得るべきところではございましたが、実習実施に間に合わせるためには早急な修理を必要としたため、事後報告となりましたこと、お詫び申し上げます。

修理の詳細については、以下の通りです。

修理実施日: 令和2年6月17日(水) 9:00~11:30

・学生後援会 学生実習援助からの支援分

真空排気装置点検修理 1式 170,000円

内容: 作業費(購入品:シーケンサ CPU ユニット, パワーサプライ, リレー), 交通費, 諸経費

・化学系実習実施研究室からの補填分

(4研究室-薬用生物資源学, 薬化学, 薬品製造学, 分子合成化学-で5万円ずつ負担)

真空排気装置点検修理 1式 200,000円

内容: 事前下見作業, 電気設計費, PLCソフト変換費, 現地作業費, 交通費, 諸経費

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-6. 課外活動に対する補助金

担当： 中野

令和3年度の課外活動に対する補助金を以下のように決定し支給しました(詳細は略)。

5-1-7. 奨学資金援助

担当： 中野

令和3年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は22名です。

5-1. 令和3年度事業報告(続き)

5-1-8. 広報

担当：谷本

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。令和2年度にホームページをリニューアルし、これまで同様逐次アップデートすることで、内容の充実を図っております。ご覧いただければ幸いです。なお新ホームページ開設から1年以上が経過したことを受け、旧ホームページは削除いたしましたのでご了承ください。

(新)富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-1-9. 保護者懇談会

担当：杉本

例年通りであれば、杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、杉谷キャンパスにて開催となる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大学祭が中止となったことから、保護者懇談会は令和3年10月23日(土)の午後2時よりオンラインにて開催しました。65名の保護者の方にご参加いただきました。

5-1-10. 入会状況

担当：歌

令和3年度の新規加入者は92名(新入生薬学科58名中54名、新入生創薬科学科50名中38名、在学生薬学科5名、在学生創薬科学科6名)でした(新入生：R3.12.1～R4.2.28、在学生：R3.3.1～R4.2.28)。また、令和4年度入学者74名(新入生薬学科48名、新入生創薬科学科26名)の入会を受け付けました(R4.3.31現在)。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および3年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

特別選抜入学者：薬24名 創薬3名

前期合格者：薬43名 創薬34名

後期合格者：薬7名 創薬3名

5-2. 令和3年度会計報告

以下、本会計、緊急対策会計、奨学資金会計の収支決算及び監査報告があった。

担当：和田

令和3年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。

(自 令和3年3月1日 ~ 令和4年2月28日)

収支決算報告書(案)

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

〈略〉

表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

〈略〉

表 2-1. 緊急対策会計収支報告(財源の部)

〈略〉

表 2-2. 緊急対策会計収支報告(積立の部)

〈略〉

表 3. 奨学資金会計収支報告

〈略〉

収支監査報告

〈略〉

以上、会計報告について特に質問はなかった。

5-3. 新役員の選出

担当：歌

会長、新副会長、学内外の新理事、監事について、承認された。

令和4年度役員名簿

理事(正会員)

会長：	青島 圭子	(薬学科)	副会長：	<u>笥 久史</u>	(薬学科)
理事：	今井 克也	(薬学科)	理事：	緒方 秀一	(創薬科学科)
理事：	金森 信幸	(薬学科)	理事：	田谷 進二	(創薬科学科)
理事：	郷 達広	(薬学科)	理事：	永森 隆志	(創薬科学科)
理事：	野原 英治	(薬学科)	理事：	大島 健一	(薬学科)
理事：	松澤 孝泰	(薬学科)	理事：	深山 敦子	(薬学科)

理事(教職員会員)

副会長：	酒井 秀紀	(薬学部長)
庶務：	歌 大介	(応用薬理学)
入会・人事：	<u>赤沼 伸乙</u>	(薬剤学)
課外教育 国家試験：	谷本 裕樹	(生体認識化学)
課外教育 TOEIC 講習：	<u>田浦 太志</u>	(薬用生物資源)
課外活動・奨学資金：	中野 実	(生体界面化学)
会計：	<u>池田 恵介</u>	(生体界面化学)
広報：	<u>廣瀬 豊</u>	(遺伝情報制御学)

監事

監事(正会員)	<u>高森 祐子</u>	(薬学科)
監事(教職員会員)	<u>廣瀬 豊</u>	(遺伝情報制御学)

(下線は新任)

5-4. 令和4年度事業予定(案)審議

5-4-1. 課外教育援助① (国家試験対策支援, 薬学科6年生対象)

担当: 谷本

令和4年度は、新カリキュラム導入後の第12期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科6年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和4年	5月頃	国家試験についてのガイダンス
	5月末頃	スタートアップ模試(薬学ゼミナール)
	7月末頃	ステップアップ模試(薬学ゼミナール)
	9月頃	全国統一模擬試験Ⅰ(薬学ゼミナール)
	11月頃	予備校講師によるガイダンス
	11~12月頃	予備校講師による講習会
	12月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ(薬学ゼミナール)
令和5年	1月上旬頃	模擬試験(メディセレ)
	1月中旬頃	予備校講師による講習会
	1月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ(薬学ゼミナール)
	2月下旬	第108回薬剤師国家試験

令和3年度の第107回国家試験は、科目により差はありますが、全体としての難易度は106回と同程度となりました。「新出題基準」や「改訂コアカリ」、「実務実習ガイドライン」を意識した科目の壁を超えた連問等「総合的な力」や「考える力」を必要とする問題が、継続して出題されてきました。科目間のボーダーレス化がさらに進んだ印象です。また、実務実習で体験する「代表的な8疾患」については、継続して出題の多いがんや感染症に加えて循環器系疾患も出題されました。薬剤師に求められる臨床的な視点に立った問題が多く、遺伝子治療などの新項目や、治療と実務を絡めた内容も出題されていました。1つの問題に多くの疾患名が列挙され、しっかり症例・処方を読まないで解答できない問題が多く出題されており、臨床で複数の合併症を有する患者に対応する実践力が問われる内容が多く含まれておりました。学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導する予定です。令和4年度の実験対策は、過去3年間の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 令和4年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

担当: 田浦

令和4年度は、以下のようにTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う予定です。

活動予定

1) TOEIC講習会(令和4年11月上旬頃)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し, 入門&スコアアップコースの2クラス制でオンラインにて実施します。使用教材については, 入門コースは最新の公式問題集, スコアアップコースは令和3年度に入門コースで使用したver. 7の問題集の予定です。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。1クラス分(スコアアップコース)の講師代と添削費は, 薬学部共通経費から支出する予定です。
- ・平成30年度より, 学部2年生も受講(支援)対象としています。TOEIC活動周知を改善して, 参加者増(特に学部2年生)を目指します。

2) TOEIC-IPテスト(令和5年1月実施予定:大学生協主催)

- ・学生後援会から, 創薬科学科学生の受検費(2回分まで)を支援します。

3) その他のTOEIC学習支援

- ・早期からTOEIC対策に取り組めるように, 学生後援会入会済の創薬科学科1, 2年生全員に, 最新の公式問題集を配布します。
- ・年度始めのガイダンスにて, 早期からTOEIC対策に取り組むよう周知徹底を図ります。

今後の課題

- ・創薬科学科2年生の講習会への参加者数は増加傾向ですが(13名参加, 令和2年度も13名), IPテストは2名のみ受検でした(令和2年度はなし)。今回からIPテストの無料支援は2回までに増えたため, もっと多くの2年生が受検するかと予想しましたが, 実際はあまり増えませんでした。早期に学習を開始すること, およびIPテストを受検して自分の現状を知ることが重要であるため, さらに2年生の参加者が増えるように今後も周知徹底します。
- ・大学院入試の出願時に外部英語試験(TOEIC等)のスコア(過去2年以内)の提出が義務づけられているので, TOEIC等の検定を事前に受検しておく必要があることを周知します。
(TOEIC730点を, 入試では満点と換算します)
- ・薬学科の学生も製薬企業等への就職の際に TOEIC の受検が役に立つ場合がありますので, ガイダンス等で周知し, TOEIC 対策への積極的な参加を促します。

5-4. 令和4年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-3. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

担当：歌

令和5年2月に薬学部4年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

5-4-4. 学生教育推進費(旧:学生実習援助)

担当：歌

薬用植物標本展示の拡充や図書館蔵書の拡充に対する補助など、一層の学生教育の推進を図るべく、幅広く援助を行います。また、本年度も引き続き、学部教育に関わる実習に必要な経費についても、要望があれば、援助を行う予定です。

5-4-5. 課外活動援助

担当：中野

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

5-4-6. 奨学資金援助

担当：中野

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

5-4. 令和4年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-7. 広報活動

担当：廣瀬

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新) 富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：歌

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和4年10月22日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

5-4-9. 令和5年度総会の開催

担当：歌

令和5年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上、令和4年度事業計画が各担当より説明され、原案通り承認された。

表 4. 学生後援会本会計予算(案)

〈略〉

表 5. 緊急対策会計予算(積立の部)(案)

〈略〉

表 6. 奨学資金会計予算(案)

〈略〉

以上、令和4年度予算案が、原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当: 杉本

学会での受賞等 (薬学部同窓会誌「遠久朶」第 99 号(令和 4 年 2 月発刊)より抜粋、学年は受賞時)

- 卒業論文最優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
影山 哲平 (創薬科学科 4 年:薬物生理学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
岡部 春花 (創薬科学科 4 年:薬化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
小沢 魁斗 (創薬科学科 4 年:薬化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
山崎 航河 (創薬科学科 4 年:分子合成化学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
三浦 基 (創薬科学科 4 年:薬物生理学研究室)
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
佐藤 芽衣 (創薬科学科 4 年:臨床薬剤学研究室(附属病院薬剤部))
- 卒業論文優秀発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
永井 真華 (創薬科学科 4 年:病態制御薬理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
大門 美菜 (薬学科 4 年:生体界面化学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
阿曾 可那 (薬学科 4 年:分子合成化学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
石川 めぐみ (薬学科 4 年:薬物生理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
土手 陽世 (薬学科 4 年:分子細胞機能学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
遠藤 麻夜 (薬学科 4 年:生体防御学領域)
- 優秀ポスター発表賞(令和 2 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 令和 3 年 2 月
中野 朔弥 (薬学科 4 年:臨床薬剤学研究室(附属病院薬剤部))
- 学生優秀発表賞(ポスター発表の部、日本薬学会第 141 年会) 令和 3 年 3 月
董 昱卓 (博士後期課程 1 年:資源科学領域)
- 令和 3 年度(2021 年度)日本学術振興会特別研究員(DC2)採用 令和 3 年 4 月
大貫 悠太 (博士後期課程 3 年:分子合成化学研究室)
- 優秀演題賞(第 25 回日本がん分子標的治療学会学術集会) 令和 3 年 5 月
高橋 隼一郎 (博士課程 3 年:がん細胞生物学研究室)
- 永井財団大学院学生スカラシップ(日本薬剤学会第 36 年会) 令和 3 年 5 月
篠崎 友亮 (博士前期課程 2 年:薬剤学研究室)
- 学生ベスト発表賞 優秀発表賞(日本生化学会北陸支部第 39 回大会) 令和 3 年 6 月
中田 真衣 (薬学科 6 年:がん細胞生物学研究室)

- 学生ベスト発表賞 発表賞(日本生化学会北陸支部第 39 回大会) 令和 3 年 6 月
神尾 凌哉 (博士前期課程 1 年: 遺伝情報制御学研究室)
- 学生ベスト発表賞 発表賞(日本生化学会北陸支部第 39 回大会) 令和 3 年 6 月
田中 章裕 (博士前期課程 1 年: がん細胞生物学研究室)
- 学生ベスト発表賞 発表賞(日本生化学会北陸支部第 39 回大会) 令和 3 年 6 月
朝倉 礼奈 (薬学科 6 年: 分子細胞機能学研究室)
- ポスター発表賞(日本ケミカルバイオロジー学会第 15 年会) 令和 3 年 6 月
岩邊 巧 (博士前期課程 2 年: 生体認識化学研究室)
- 優秀口頭発表賞(次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2021) 令和 3 年 8 月
前田 貴大 (博士後期課程 2 年: 病態制御薬理学研究室)
- 優秀ポスター発表賞(次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2021) 令和 3 年 8 月
山田 果琳 (博士前期課程 1 年: 応用薬理学研究室)
- 若手最優秀演題賞(第 95 回日本糖尿病学会中部地方会) 令和 3 年 9 月
前田 貴大 (博士後期課程 2 年: 病態制御薬理学研究室)
- 若手最優秀演題賞(第 95 回日本糖尿病学会中部地方会) 令和 3 年 9 月
宮澤 佑一朗 (博士後期課程 1 年: 病態制御薬理学研究室)
- 若手道場優秀発表賞(第 64 回日本神経化学学会大会) 令和 3 年 9 月
長瀬 綸沙 (博士後期課程 1 年: 神経機能学領域)
- 若手道場優秀発表賞(第 64 回日本神経化学学会大会) 令和 3 年 9 月
須山 真聡 (博士前期課程 1 年: 神経機能学領域)
- 優秀発表賞(2021 年度有機合成化学北陸セミナー) 令和 3 年 9 月
村井 亮太 (博士前期課程 2 年: 薬化学研究室)
- 優秀発表賞(2021 年度有機合成化学北陸セミナー) 令和 3 年 9 月
西沖 航平 (薬学科 6 年: 薬化学研究室)
- 優秀発表賞(第 72 回日本薬理学会北部会) 令和 3 年 9 月
松田 康佑 (博士前期課程 1 年: 応用薬理学研究室)
- ポスター賞(第 72 回コロイドおよび界面化学討論会) 令和 3 年 9 月
眞榮城 佑 (薬学科 6 年: 生体界面化学研究室)
- Bronze poster prize (6th Toyama-Basel symposium) 令和 3 年 9 月
孫 思嘉 (博士後期課程 3 年: 天然薬物開発研究室)
- Best Young Scientist Award (7th Congress of the Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP) 2021) 令和 3 年 10 月
宮西 肇 (博士後期課程 2 年: 薬物治療学研究室)
- ショートプレゼンテーション優秀発表賞(第 23 回天然薬物の開発と応用シンポジウム) 令和 3 年 10 月
Lee, Yuan-E (博士後期課程 3 年: 天然物化学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
桶川 晃 (博士後期課程 2 年: 病態制御薬理学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
賀 卡 (博士後期課程 1 年: 生体防御学領域)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
山崎 萌 (博士前期課程 2 年: 生体界面化学研究室)

- 学生優秀発表賞 大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
三浦 基 (博士前期課程 1 年:薬物生理学研究室)
- 学生優秀発表賞 大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
山田 果琳 (博士前期課程 1 年:応用薬理学研究室)
- 学生優秀発表賞 学士課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
西沖 航平 (薬学科 6 年:薬化学研究室)
- 学生優秀発表賞 学士課程部門(日本薬学会北陸支部第 133 回例会) 令和 3 年 11 月
湯舟 香春 (薬学科 6 年:病態制御薬理学研究室)

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

担当: 杉本

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、平成 26 (2014)年度入学生から 2 年次以降の毎年 5 月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3 月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等についてご心配やご相談事がございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携してご相談に応じます。

平成 25 (2013)年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込みいただくようお願い申し上げます。お申し込みに関しましては、毎年 9 月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。

(追加) 正会員理事の選出方法について

理事(入会・人事)担当の赤沼から、現在の正会員からの理事選出における直近数年の問題に関する報告と、今年度の正会員理事選出について、“葉書の郵送での諾否確認を行う”旨の提案がなされた。審議の結果、今年度は試験的に郵送による理事着任の諾否問い合わせを行うこととなった。

総会終了後、希望者を対象に薬学部施設の見学会を実施した。2 つの小グループ(1 グループ 7-8 名)に分かれ、学内ツアーを行った。